

2018 年度
部局 F D 活動報告

①人文社会学部／人文科学研究科		
活動状況	学生による授業アンケート等	人文社会学部（及び人文・社会系）／人文科学研究科の各教室は、それぞれ学問的な性質やアプローチの方法などが、大きく異なっている。統一したアンケートを作成することも困難を伴う上に、もし、そのようなアンケートを行っても、その結果を異なる教室間で比較対照することにも難しさがあり、効果が見込めない。そのようなことから、学部(学系)／研究科全体で統一した授業評価アンケートを実施していない。一方で、各教室ごとに、少人数体制を活かし、教員と学生の密接な対話を通じて、学生からのフィードバックを受ける仕組み（曜日を決めて昼休みに共同研究室に教員学生が集い、情報交換する等）を設けて、その結果を授業の質や教育方法の改善に取り組んでいる。
	研究会・講演会・セミナー等	教室によっては、定期的に授業の改善に向けた会合を行ったが、学部(学系)／研究科全体の取り組みとしての研究会や講演会などは開催されていなかったため、今後はそのような機会を増やすようにしたい。
	委員会・会議等	各教室に2018年度に取り組んだFD活動について、報告を求め、いくつかの教室から回答を得た。回答を取りまとめ、フィードバックを行った。
	その他	2015年度・2016年度は、「授業の工夫」パンフレットを製作した。各教室のFD委員を通して、専門教育科目における授業の進め方、特に授業外学習時間を増やすための方法について、取りまとめたものだ。昨年度は作成できなかったため、今年度は同様の取り組みを行い、年度末までには、まとめる予定である。
今後の予定・展望	部局自体の取り組みとして、「授業の工夫」パンフレットを作成している。有意義な取り組みとして、今後も続けていきたい。また、パンフレット作成をきっかけに、教室の垣根を越えた情報交換の機会を増やし、それぞれの教室の良いところをお互いに学ぶようにしていきたい。	

②法学部／法学政治学研究科	
活動状況	<p>学生による授業アンケート等</p> <p>【学部】 通年開講の専門教育科目（14科目）を対象として、学生による授業評価アンケートを実施した。集計結果をまとめ、各担当教員にフィードバックし、来年度以降の教育活動の改善に役立てている。（継続的に実施中）</p> <p>【研究科】 法学政治学専攻においては、少人数のため授業評価アンケートはなじまず、実施していない。</p>
	<p>研究会・講演会・セミナー等</p> <p>【学部】 法学部においては、今後、全学のFDセミナーへの参加に加えて学部内のFDセミナーの企画について、その方法・テーマ・時期等を含めて検討を進めている。スタッフミーティングの機会を活用し、本学で発行されているFDレポートなどを教材に、FDの手法について検討を重ねている。特に法律学・政治学ではそのままでは活用しにくい手法が多いため、これをどのように消化し、取り込んでいくかに主眼を置いた検討を行っている。</p> <p>【研究科】 <政治学分野> ①毎月、教員・院生全員が参加する「政治学総合演習」を開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、政治学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。 ③政治学分野に所属する全教員・院生で構成される「政治学FD会議」を開催している。政治学FD会議は、学期初の回（4月・10月）では、教員が当期の講義・演習の概要・趣旨等を説明し、意見交換を行う。これを踏まえ、学期末の回（9月・2月）では、学期初に掲げた授業目標の達成度等に関する情報交換を行うと共に、講義・演習に参加した院生との意見交換を行い、授業内容の改善に努めることとしている。</p> <p><法律学分野> ①教員・院生全員が参加する「法律学総合演習」を定期的に開催し、研究・教育水準の向上を図っている。 ②毎月、法律学分野の教員による「スタッフミーティング」を開催し、大学院の教育及び研究指導等に関する意見交換を行っている。</p>
	<p>委員会・会議等</p> <p>「法学部FD委員会」及び「大学院法学政治学研究科法学政治学専攻FD委員会」（合同開催。大学院（法学政治学研究科法学政治学専攻）主任、FD委員、教務委員、基礎教育部会委員で構成）を組織している。</p>
	<p>その他</p>
今後の予定・展望	<p>【学部】 ・実施した授業評価アンケートの結果を、個々の教員のレベルにおいて、自らが担当する授業や教育環境の改善に反映させていくことを再確認した。 ・法学部のFD活動のあり方に関する法学部FD委員会における議論をより活発化させるために、法律学・政治学各コースでのスタッフミーティングを活用している。 ・引き続き、各専門領域の教員間で、カリキュラムや講義のあり方について検討する機会を定期的に設け、法学部全体の教育効果の改善・充実につなげていきたい。</p> <p>【研究科】 2007年度から大学院FDの実施が求められていることを踏まえ、法律学・政治学総合演習等を中心とした自己点検・評価及びFD活動の更なる充実に向けた検討を、大学院法学政治学研究科の法学政治学専攻FD委員会を中心に行っている。定員充足率の向上と共に、外国人留学生が増えてきているので、これらの学生に向けたFDの在り方について、引き続き検討を行っている。</p>

③法学政治学研究所 法曹養成専攻	
活動状況	<p>学生による 授業アンケート等</p> <p>法科大学院の教育等の改善及び充実のためのアンケート調査を、学期ごとにすべての法科大学院生を対象に実施している。このアンケート調査において、すべての授業科目について学生による授業評価を行うとともに、あわせて授業内容や方法、学習支援体制（オフィスアワーなど）、施設や設備等に対する要望等を尋ねている。授業評価のほか、授業に関する要望について当該科目の担当教員にフィードバックし、教育活動等の改善に役立っている。また、このアンケートで挙げられた要望等をFD会議及び専攻会議で検討し、学習環境の改善に役立っている。さらに、毎年、法科大学院同窓会組織である「晴海会」が、本学修了の司法試験合格者による報告会を開催し、各報告の中で法科大学院での授業その他の学習支援についての感想や意見にも言及されている。こうした修了生の感想意見は、同報告会に出席した教員から他の教員にFD会議等の場で情報提供され、授業等の改善にも活用されている。</p>
	<p>研究会・講演会・ セミナー等</p> <p>各種の団体が実施するセミナー等への参加 法曹養成専攻がFD関係の研究会等を主催することはなかった。しかし、法科大学院教育、司法試験、第三者評価等に関して、法科大学院協会、大学改革支援・学位授与機構、日弁連等の各種団体が実施する検討会やセミナー等については、適宜専任教員等に参加を促し、実際に参加した教員が必要に応じてFD会議や専攻会議で報告するなどしている。</p>
	<p>委員会・会議等</p> <p>FD会議等の実施 毎月1回(第1木曜日)、授業を担当する教員から構成されるFD会議を開催し、学生の学習状況や授業方法等についての情報の共有化を図るとともに、法科大学院における教育等についての意見交換を行っている。さらに、FDに関する情報提供や協議は、専門領域（刑事系、民事系、公法系）毎に、日常的に、適宜の方法により行われている。 また、専任教員には、他の教員の授業を見学する義務を課し、その見学結果をFD会議において報告し、当該授業に関する見学教員の評価や問題意識をFD会議構成員間で共有する制度を設け、活発に運用している。</p>
	<p>その他</p> <p>2018年度には、法定化されている大学改革支援・学位授与機構による法科大学院認証評価（第三者評価）を受けており、その際、教員の能力や資格に関する審査も行われている。その認証評価に付随して、法科大学院では、毎年、大学改革支援・学位授与機構に対し「年次報告書」を提出し、審査・評価を受けている。 また、2007年度以降、法科大学院の各年度における自己点検・評価結果については、外部委員による評価を行い、年度ごとの自己評価書を公表しているが、2018年度も同様の取組みを行う予定である。 なお、2004年度には、法科大学院設置申請に際して、文部科学省による教員審査を受け、2004年11月、2005年7月には文部科学省による法科大学院設置年次計画履行状況実地調査を受けた実績がある。また2006年11月には、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況面接調査を受けた実績がある。</p>
<p>今後の予定・展望</p> <p>2018年度に受けた法科大学院認証評価の結果を踏まえ、法科大学院における教育・研究の質の向上を実現すべく、前記取組みを継続し、更なる向上策を検討・実践する予定である。 しかし、継続的に上記のような取組みを実施し、法科大学院をより良いものとするために人的体制を整備する必要があることは、文部科学省による法科大学院設置計画履修状況の面接委員、法科大学院認証評価結果等において指摘されてきたところである。しかしながら、法曹養成専攻では今後数年にかけて複数の専任教員の定年退職が予定されている。また、助教については、他学への就職等により任期途中で退職する事態が頻発しており、同様の事態が今後も生ずる可能性は高い。しかも、法科大学院において、助教は、より身近な存在として学生からの日常的な質問や相談に対応することが求められ、法科大学院教育を充実させるために不可欠な立場にあるため、優秀な人材を複数、途切れることなく確保する必要がある。したがって、今後も、優秀な教員を採用するための人事枠・制度の拡充、正規雇用職員の増員を中心とする事務体制の整備、これらを可能にする予算措置を講ずる必要がある。</p>	

④経済経営学部／経営学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>前期・後期それぞれにおいて以下の通り授業アンケートを実施した。</p> <p>【学部】前期は2018年6月4日から22日に前期新規開講もしくは再開された12科目について、後期は2018年11月26日から12月14日に後期開講全39科目を対象として行った。</p> <p>【研究科】前期は2018年6月4日から22日に前期開講全17科目、後期は2018年11月26日から12月14日に後期開講の全21科目を対象として行った。いずれも回答はWEB形式で行い、アンケート結果は、前期、後期ともに、アンケート実施後に担当教員にフィードバックし、教員の授業改善に努めている。また、アンケート結果を授業内で学生にフィードバックすることを通じて、学生の学習意欲の向上にも努めている。</p>
	研究会・講演会・ セミナー等	特に無し
	委員会・会議等	<p>FDに特化した委員会ではないが、教授会の下部組織として「教育改革SWG (Sub Working Group)」を設け、FD関連要素を含む全般的な教育改革について議論する場を設けている。本年度は、現時点で4回開催されており（6/28、9/27、10/25、12/27）学習達成度情報フィードバックシステムの改修、ジェネリックスキル修得度判定用レーダーチャートの開発、目標とする成績分布の見直し、その他教育改革推進事業等に関する取り組みを行った。</p>
	その他	<p>体系的な学習の促進を目指して、学習モデルを提示して履修指導を行っているほか、学習達成度情報フィードバックシステムの改修、ジェネリックスキル修得度判定用レーダーチャートの開発を行っている。また、目標とする成績分布の見直しを実施した。</p>
今後の予定・展望	引き続き、授業アンケート、学習モデル、また、学習達成度情報フィードバックシステムの改修、ジェネリックスキル修得度判定用レーダーチャートの開発等の取り組みを通じて、学生に対して自発的・能動的な学習を促す努力を継続する予定である。	

⑤理学部／理学研究科																																
活動状況	学生による 授業アンケート等	<p>【学部アンケート】</p> <p>(1) 理工学系6コース及び理学部4学科のすべての専門教育科目に対して、前期（7月）と後期（1月～2月）に、「授業改善のためのアンケート（学生用）」調査を実施した。質問項目については、経年変化を追跡できるように、誤字等の修正を除いて例年通りとした。自由記述式の設定は全学アンケートに準じている。また、授業担当者が設問できる問いを積極的に利用してもらおうよう、前期・後期とも「質問例集」を作成し、授業担当者に配布した。</p> <p>(2) 昨年度後期分の学生アンケートの集計結果を6月に、今年度前期分の学生アンケートの集計結果を10月に、それぞれ各教員へ返却した。学生の自由記述については、原文のまま各授業担当者に返却した。その際、差別用語を含むなど不適切な回答内容については、回答の意図を損なわない程度に不適切箇所のみ削除して授業担当者に開示することとした。</p> <p>(3) 授業担当者に対しては、「理学部専門教育科目に関する授業改善アンケート」を秋に実施し、それらの回答を集計して理学部FD委員会にて共有した。</p> <p>(4) 学生アンケートの有効性を学生にも理解してもらうため、アンケートの全体結果をまとめたリーフレット（隔年発行）の作成を行った（来年度のシラバスに添付する形で学生へ配布予定）。</p>																														
	研究会・講演会・ セミナー等	正式に部局FDセミナーとして開催したものはなかったが、9/14に化学科で開催された化学科セミナー（参加約40名）の中で学科教員による講義紹介があり、好評を得ていた。今後、部局FDセミナーのアイデアとして取り入れていきたいと考えている。																														
	委員会・会議等	<p>理学部FD委員会を以下の日程で開催し、各学科・専攻におけるFD活動の報告と意見交換を行うとともに、授業アンケートの方法、成績評価基準、セミナー実施、授業改善と研究環境改善に関する施策など、理学部FD委員会として検討すべき事項について議論を行った。</p> <table border="0"> <tr> <td>第1回</td> <td>4月26日</td> <td>前期授業改善アンケートの実施について</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>5月30日</td> <td>前年度後期開講科目の成績分布(教学IR作成)についての検討</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>6月12日</td> <td>(メール開催)成績分布の検討結果について</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>7月26日</td> <td>授業改善アンケートの経年変化について、後期授業改善アンケートの質問項目について</td> </tr> <tr> <td>第5回</td> <td>9月6日</td> <td>前期授業改善アンケートの自由記述の取扱いについて、リーフレットの作成について</td> </tr> <tr> <td>第6回</td> <td>10月22日</td> <td>空調設備の改善について、リーフレットの修正</td> </tr> <tr> <td>第7回</td> <td>11月20日</td> <td>(メール開催)前期開講科目の成績分布の各学科内での共有と検討について</td> </tr> <tr> <td>第8回</td> <td>12月27日</td> <td>卒業時アンケートの実施について、成績分布の検討結果について</td> </tr> <tr> <td>第9回</td> <td>1月28日</td> <td>冊子「講義のコツ・ポイント」の作成(最終)</td> </tr> <tr> <td>第10回</td> <td>3月予定</td> <td>来年度への引継ぎ、申し送り事項等について</td> </tr> </table>	第1回	4月26日	前期授業改善アンケートの実施について	第2回	5月30日	前年度後期開講科目の成績分布(教学IR作成)についての検討	第3回	6月12日	(メール開催)成績分布の検討結果について	第4回	7月26日	授業改善アンケートの経年変化について、後期授業改善アンケートの質問項目について	第5回	9月6日	前期授業改善アンケートの自由記述の取扱いについて、リーフレットの作成について	第6回	10月22日	空調設備の改善について、リーフレットの修正	第7回	11月20日	(メール開催)前期開講科目の成績分布の各学科内での共有と検討について	第8回	12月27日	卒業時アンケートの実施について、成績分布の検討結果について	第9回	1月28日	冊子「講義のコツ・ポイント」の作成(最終)	第10回	3月予定	来年度への引継ぎ、申し送り事項等について
	第1回	4月26日	前期授業改善アンケートの実施について																													
	第2回	5月30日	前年度後期開講科目の成績分布(教学IR作成)についての検討																													
第3回	6月12日	(メール開催)成績分布の検討結果について																														
第4回	7月26日	授業改善アンケートの経年変化について、後期授業改善アンケートの質問項目について																														
第5回	9月6日	前期授業改善アンケートの自由記述の取扱いについて、リーフレットの作成について																														
第6回	10月22日	空調設備の改善について、リーフレットの修正																														
第7回	11月20日	(メール開催)前期開講科目の成績分布の各学科内での共有と検討について																														
第8回	12月27日	卒業時アンケートの実施について、成績分布の検討結果について																														
第9回	1月28日	冊子「講義のコツ・ポイント」の作成(最終)																														
第10回	3月予定	来年度への引継ぎ、申し送り事項等について																														
その他	<p>(1) 基礎教育部会および教務委員会からの依頼にしたがって、教学IR推進室で集計された昨年度後期分および今年度前期分の成績分布について各学科で成績分布データの共有を行い、今後の課題や授業改善の必要性について理学部FD委員会で検討を行った。また、その結果を理学部FD委員会からの意見として基礎教育部会および教務委員会へ報告を行った。</p> <p>(2) 学生アンケートの自由記述欄で学生からの好意的な意見が多かった教員の講義アイデアや工夫をまとめた冊子「講義のコツ・ポイント」を作成した（授業担当者のための手引に折り込む等して4月に配布する予定）。</p>																															
今後の予定・展望	本年度から旧理工学系の2コースがシステムデザイン学部（SD）に統合され理学部は4学科となったが、理工学系の在学生に対する教育環境の改善・向上については、在学生がすべて卒業する3年後までを目途に、必要に応じてSDからもオブザーバーを出してもらいつつ今後も理学部FD委員会内で議論を進める予定である。部局FDセミナーについても、都市環境学部で開催されたものや化学科で開催された研究会などを参考にして、理学部FDセミナーの開催を模索できればと考えている。																															

⑥都市環境学部／都市環境科学研究科

活動状況	学生による 授業アンケート等	非常勤講師担当科目と受講者数が10名程度以下の科目を除く前期開講科目について、授業アンケートを2018年7月9日(月)～7月27日(金)の期間に実施した。前期授業アンケートの実施・回収状況は以下のとおりである。学部授業に関しては、対象科目数 67、返却科目数 65(回収率97.0%)、履修登録者 2922、回答者数 2312(回答率79.1%)であった。教員アンケートについては、対象教員数(延べ人数) 110、返却教員数 105(回収率95.5%)であった。大学院授業に関しては、対象科目数 13、返却科目数 12(回収率92.3%)、履修登録者 319、回答者数 243(回答率76.2%)であった。教員アンケートについては、対象教員数(延べ人数) 18、返却教員数 17(回収率94.4%)であった。 後期開講科目については、授業アンケートを2019年1月4日(金)～1月25日(金)の期間に実施し、前期と同様にアンケート結果を集計・分析する予定である。
	研究会・講演会・ セミナー等	都市環境学部・都市環境科学研究科主催のFDセミナーを開催した。 日時：2018年11月15日 16：30～17：00 場所：9号館2階 大会議室 テーマ：kibacoを利用した単位実質化の取り組み 講師：環境応用化学科 山登 正文 准教授 受講者数：教員50名(都市環境学部 49名、大教センター 1名)
	委員会・会議等	都市環境学部・都市環境科学研究科FD委員会を合計3回開催した。開催日時及び内容は以下のとおりである。 第1回：2018年5月21日、2017年度後期におけるFDアンケート集計結果報告について、2018年度前期FDアンケートの実施について、アンケート用紙 様式変更について、各種セミナーの案内 第2回：2018年9月10日、都市環境学部FDセミナー開催案について 第3回：2018年10月25日、2018年度前期におけるFDアンケート集計結果報告について、2018年度後期FDアンケートの実施について、都市環境学部FDセミナーについて
	その他	アンケート結果の教員へのフィードバックに関しては以下のとおりである。 1. アンケートの集計結果を都市環境学部FD委員会にて分析・共有した。 2. 個々の科目データについては、自由記述のフィルタリング後、主担当教員へ配信した。
今後の予定・展望		学生による授業評価および教員による授業評価結果を次年度の授業に活用することによって、授業の改善に取り組んでいく。アクティブラーニングについても積極的に取り組む。 また、学部・研究科主催のFDセミナーを今後も継続的に開催できるよう積極的に取り組む。

⑦システムデザイン学部／システムデザイン研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	システムデザイン学部では、前期開講科目について、学生による授業改善アンケートを2018年7月2日から8月10日に実施した。学部では、対象授業科目数83のうち70科目からの回答があり、大学院では、対象授業科目数46のうち35科目からの回答があった。また、後期開講科目については2019年1月4日から2月1日に実施した。演習、実験科目、集中講義科目に対するアンケートも、授業担当教員の希望を募って実施している。
	研究会・講演会・セミナー等	部局FD活動及び教育改革推進事業（学長指定課題）の一環として、以下の通り、教員及び博士後期課程学生（いずれも希望者）を対象とした講習会を開催した。 1. 日時（以下の6クラスから選択）： 2019年1月9日(水) 10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00 2019年1月11日(金) 10:00～12:00、13:00～15:00、15:00～17:00 2. 場所：日野キャンパス1号館1階 会議室4 3. 内容：英語授業の進め方の実践的なスキルを磨くため、少人数の模擬授業形式で、実践に近い英語授業スタイルでの講習を行った。基本は、先生方に交替で講師役を務めてもらい、講習会講師が生徒役として質問や意見（突っ込み）を入れる形式であった。 4. 講師：(株) イデア・インスティテュート所属の、教員経験のあるネイティブの方2名
	委員会・会議等	システムデザイン学部FD部会を、2018年4月17日、5月11日、6月8日、11月9日に開催し、授業改善アンケートの実施方法の検討及びアンケート結果の考察などを行うとともに、適宜メール審議を実施することにより効率を高めた。なお、システムデザイン学部では、大学院教務委員会とシステムデザイン学部FD部会は兼任のため、毎月の大学院教務委員会実施時に全学FD委員会の報告などをあわせて行うことにしている。
	その他	学生による授業改善アンケートの結果を科目ごとにまとめ、各授業担当教員にフィードバックを行うとともに、システムデザイン学部・研究科FDニュースとしてホームページ上に公開することで（※以下、URLを参照のこと）、周知を行い、学生と教員がともにFD活動について知り、理解を深める中で恒常的に授業改善が行われるよう努めた。 ※システムデザイン学部・システムデザイン研究科ホームページ 「授業評価アンケート結果（専門科目）」 https://www.sd.tmu.ac.jp/campuslife/questionnaire.html
今後の予定・展望	今後も引き続き、学部・研究科合同のFD部会を定期的で開催し、全学FD委員会との連携、FDの共通認識の形成、具体的取組の実施検討を行う。システムデザイン学部実施の授業評価アンケートについて、アンケートの質問項目の削減を含めた再検討や個々の教員の授業改善へつなげていくための方策などを検討したい。	

⑧健康福祉学部／人間健康科学研究科

活動状況	学生による授業アンケート等	健康福祉学部においては、前期・後期・通年で開講されている専門教育科目を対象として、学生による授業改善アンケートを実施している。前期末と学年末に集計結果をまとめ、各授業担当教員にフィードバックし、次年度の講義内容の改善に役立てている。 ・実施対象科目：前期145科目、後期145科目、通年10科目 ・回答科目数（実施率）：前期115科目（79.3%）、後期及び通年は集計中
	研究会・講演会・セミナー等	年1回、健康福祉学部・人間健康科学研究科主催のFDセミナーを開催している。今年度は以下のとおり開催した。 ・日時：2019年3月7日（木）16：00～18：00 ・場所：荒川キャンパス 校舎棟1階 大視聴覚室 ・テーマ：「色のバリアフリーについて考える～色弱の基礎知識と配慮～」 ・講師：岡部正隆氏（東京慈恵会医科大学解剖学講座 教授 医師 カラーユニバーサルデザイン機構 副理事長） ・参加者数：教員13名、職員9名
	委員会・会議等	年3回、健康福祉学部・人間健康科学研究科FD委員会部会を開催している。 ・第1回：2018年7月31日（火） ・第2回：2018年11月1日（木） ・第3回：2018年3月13日（水）開催予定
	その他	特になし
今後の予定・展望	全教員にFD関連の知識を深めていただき、全体の底上げをはかりたい。そのため、例えばFDセミナーへ参加できない教員に対して積極的にHPに掲載されている動画の視聴を勧める等、FDについて学べる機会を提供していきたい。	